

# 不妊症看護認定看護師

不妊症看護認定看護師はリプロダクティブ・ヘルスの観点から、個人およびその家族のQOL向上に向けて、看護を実践していきます。

～リプロダクティブ・ヘルスとは～

『性と生殖に関する健康・権利』と訳されます。

生殖年齢にある男女のみならず、思春期以降、生涯にわたる性と生殖に関する健康を意味し、子どもを持たないライフスタイルを選択する人々を含めた、すべての個人に保証される健康概念です。

生殖にまつわる問題を抱えている個人およびその家族に必要な情報提供や相談を行い、治療について自己決定できるよう支援していきます

鈴木 知美（2016年取得） 所属：6A病棟

- ◆ ご夫婦が納得して治療を選択できるよう、適切な情報提供と自己決定支援がとても重要になってきます。妊娠の如何に関わらず、“充実した時間を得ることができた”“真摯に不妊の問題に取り組むことが出来た”と感じていただけるよう支援させて頂きたいと思います。
- ◆ 不妊治療後の妊婦は治療に伴う心身の苦痛を受けやすく、母親役割取得が遅れる傾向にあると言われていています。不妊治療後の特徴的な変化を理解した上で、病棟スタッフと連携し、妊娠期・分娩期・産褥期のサポートを行っていきたいと思います。

#### <活動内容>

- ◆ 不妊の問題を抱えたカップルとそのご家族に、生殖医療の情報提供や心身のサポート、治療の選択・決断についての支援を行います。
- ◆ 治療の事のみでなく、将来妊娠を望んでいる女性や男性に対して“妊孕性”を知ってもらい、妊娠しやすい身体づくりを理解していただくための支援を行います。
- ◆ 「高齢出産」「胚凍結保存」「がんにおける妊孕性温存」など、様々な状況下での妊娠を考えているカップルの相談に対応できるよう、他職種と連携をはかり活動を行っていきたいと考えています。

不妊カウンセリングの予約を開始しました。  
第1土曜日・第3木曜日（休診日を除く）  
9:00～10:00 または 10:30～11:30